

# 2020 スポーツフェスを終えて

## 1年生

1年生にとって、初めての運動会行事。今年は例年とは違った形でしたが、小学校初めての「50M走」では、元気いっぱい全力で走る姿が見られました。エントリー競技では、振付がかわいい「ダンシング☆玉入れ」と、ペアで協力して障害を乗り越えていく「すっぱり★デカパンリレー」の2種目に挑戦しました。どちらも、チームで声を掛け合って、最後までやり抜くことができました。最後の「大玉転がし」では、応援も白熱し、どちらのチームも練習のとき以上の力を出すことができました。初めての大きな行事を、学年みんなで楽しみながら取り組むことができました！

## 2年生

2年生は、団体競技での役割分担や作戦を子どもたちで何度も話し合っていて決めていきました。練習をする度にチームワークが磨かれ、最初の頃の様子からはまるで別のチームのようになりました。70m走では、初めてのカーブのあるコースを走りました。コースから外れることなく、スピードを落とさず力いっぱい駆け抜けることができました。スポーツフェス中は、他学年の競技を応援することが大きな楽しみでした。ペラングから力いっぱい声を出して、「がんばれ赤組！」「まけるな白組！」と、全校との一体感をもてました。

## 3年生

3年生は、団体競技の種目を自分で選び、リーダーを決めて、リーダーを中心に作戦を立てたり、掛け声の練習をしたりしました。練習を重ねるごとに動きが良くなり、チームで協力して競技をすることができました。80m走では、最後まで力いっぱい走り抜けることを目標に、ゴールを目指して走りました。今までとは違うスポーツフェスで、トップバッターでしたが、みんなが楽しみながら競技したり応援したりすることができました。また、6年生が運営のお手伝いをしてくれている姿を間近で見ることができ、6年生に対する感謝の気持ちや憧れをもつことができました。

## 4年生

「エントリー競技で何をやるかは、みんなが決めるんだよ！」と伝えると、「やったー！」と歓声が。競技内容やルール決めなど、子供たちの意見が様々な場面で反映され、はじめの言葉に選手宣誓、進行のアナウンスから終わりの言葉まで、例年高学年が係活動として動かしていたものを、PTAの皆さんのご協力をいただきながら、4年生自らの手で動かし、つくり上げることができました。達成感いっぱいであることができた、今年度のスポーツフェス。ここでつけた力を自信に変え、「自らの手でつくり上げる楽しさ」をさらに体感できるよう、働きかけていきたいです。

## 5年生

5年生は「競技運営係」が中心となり、エントリー競技の内容やルールを決めました。「プログラム係」は当日の競技順を決め、素敵な大プログラムを作成しました。また、「審判」「準備」「得点」「出発合図」「放送」といった、例年の運動会で5・6年生が担っている運営を、全て自分達で行いました。「応援団」の児童は、6年生を手本としながら一生懸命に練習を重ね、「リレー選手」は初の5年生だけのチームとして自分達で練習日を決め、作戦を練りながら、熱心に取り組みました。一人一人が役割をしっかりと果たし、高学年として大きく成長したスポーツフェスとなりました。

## 6年生

6年生にとっては小学校生活最後の運動会がなくなってしまいました。しかし、「今年だけしかできないスポーツフェス」と前向きに捉え、悔いのないフェスにするために競技にも運営にも集中して取り組みました。応援団やリレーの選手は、忙しい中時間をつくって練習し、最高のパフォーマンスを見せてくれました。また、6年生は1年生から3年生のフェスの運営のお手伝いという重要な役割も与えられ、下級生が楽しくフェスを行えるように、一人一人が責任を果たしました。スポーツフェスの成功は6年生のお陰だと言えるほど、学校全体を支える大黒柱としての姿を見せてくれた行事になりました。

## 応援団

今年は例年とは全く異なる形の応援となりました。それでも子供たちは戸惑わず、団長二人を中心に堂々とした態度で応援をすることができました。

給食前に毎日練習をするというスケジュールは大変でしたが、そんな中でも、弱音を吐かず真剣に練習に取り組む姿は見事なものでした。

団長の姿を見た5年生は早くも来年の団長になるために闘志を燃やしています。6年生が作ってくれたこの雰囲気、を来年に繋げて行ってほしいと願っています。

